

県立高等学校改革基本計画 4つの基本方針

～ふくしまの未来を切り拓く人づくりのための
魅力ある県立高等学校を目指して～

基本方針1 社会の変化に的確に対応できる生き抜く力を育む高等学校教育の推進

確かな学力の向上、豊かなこころの育成、体力の向上・健康増進の取組、課題に果敢に取り組む主体性・協働性の育成、地域と連携し、地域の特色を生かした学校づくり など

基本方針2 多様な学習内容の確保及び教育の質の向上

学び直しや特別な支援を要する生徒への対応など、多様な学習機会の充実、中高一貫教育の推進、家庭・地域・関係機関と連携した学びのセーフティネットの充実、教員の資質の向上や外部人材の活用などの学校の教育力の向上 など

基本方針3 学校の再編整備・特色化による教育活動の魅力化

◎ 学ぶ意欲を引き出す望ましい学校規模

- 望ましい学校規模は1学年4～6学級とする
- 1学年3学級以下の高等学校は、望ましい学校規模となるよう都市部も含めて統合を推進

◎ 望ましい学校規模への再編整備の推進

- 同一市町内や隣接する市町にある複数校のうち、いずれか、もしくは双方の学校が望ましい学校規模を維持できない場合に統合を推進
- 都市部の高等学校においても、地域バランス等を考慮して、再編整備を推進
- 再編整備による生徒負担を軽減する措置の検討
- 学校の特色化と積極的な情報発信を推進

◎ 進路希望に応じた特色ある高等学校の配置

- 「進学指導重点校」「職業教育拠点校」「生徒の学習ニーズに応じた特色ある高等学校」を配置
- 定時制・通信制高校・中高一貫教育校・全日制単位制高校等を全県的な視野から配置
- 「普通科等・総合学科」:「職業系専門学科」=2:1となるよう学科を配置
- 相双地区の休校5校などの今後の在り方の検討

基本方針4 過疎・中山間地域の学習機会の確保と教育環境の向上

◎ 過疎・中山間地域の学習機会の確保

- 地理的条件や通学状況を考慮し1学級本校化などの例外的な実施
- 1学級規模の本校で、入学者が募集定員の1/2以下になるなど、教育の質の維持が著しく困難となる場合、存続について検討
- 新たな分校は設置せず、現在所在している分校は存続について検討